

令和2年度

財務データ分析報告書

— 目 次 —

財務データ分析

集計概要	-----	1
1. 業種別集計	-----	2
2. 商工会別集計	-----	4

広島安芸商工会
府中町商工会
広島東商工会

【集計概要】

(1) 調査目的

安芸地域の小規模事業者の持続的な発展を推進するため、財務数値の増減を把握する。

(2) 集計方法

3商工会地域（広島安芸商工会、府中町商工会、広島東商工会）の事業所に関する、確定申告、金融支援で得られた事業者の財務データを集計した

(3) 集計結果

業種別件数

	製造業	建設業	小売業 卸売業	サービス業	その他	合計
府中町	6	58	24	117	58	263
広島東	17	83	36	163	115	414
広島安芸	8	47	49	99	82	285
合計	31	188	109	379	255	962

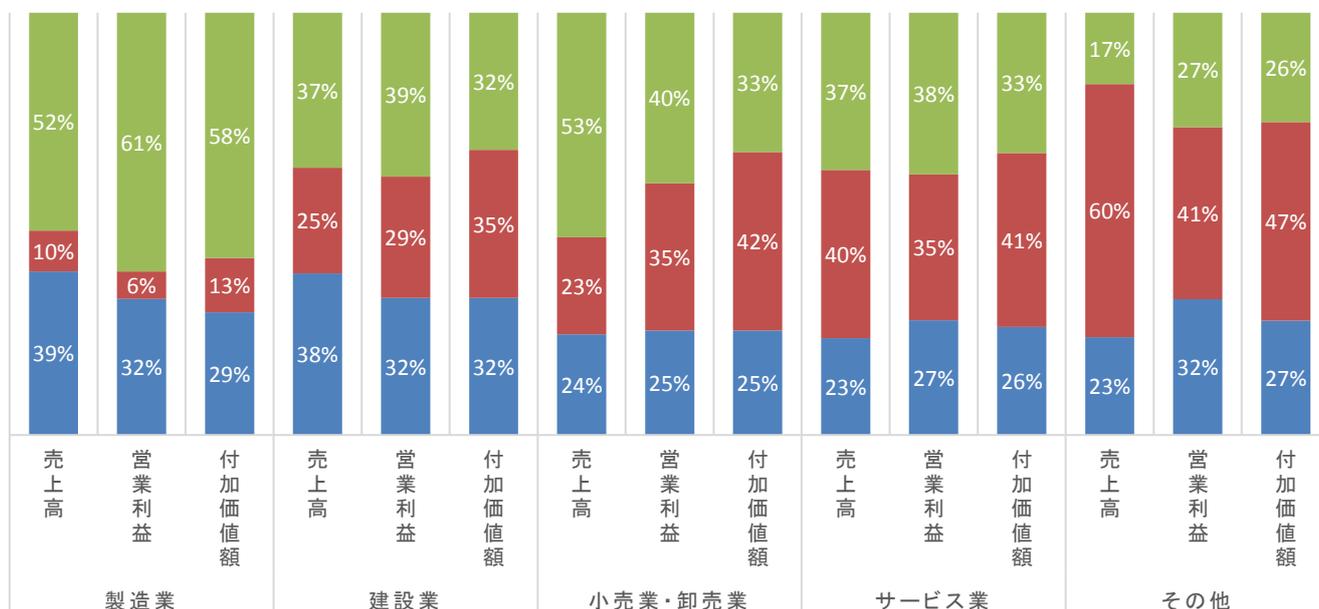
(4) 報告書の見方

- 1) 売上高、営業利益、付加価値額について、平成30年と令和元年数値を業種別に比較して、増減の件数を算出した。前年に比べて各数値が5%を超えて増加している場合「増加」、5%を超えて減少している場合「減少」、5%以内の増減の場合「横ばい」としている。なお、付加価値額は「営業利益＋人件費＋減価償却費」で計算している。
- 2) 本文及び図中に示した調査結果の数値は桁数の関係で、表中の値で計算する場合と前年度比が一致しない場合がある。

1. 3商工会合算（府中町・広島東・広島安芸）の売上高と利益の比較

3商工会合算 前年対比

■増加 ■横ばい ■減少



業種別の対象件数と前年比較

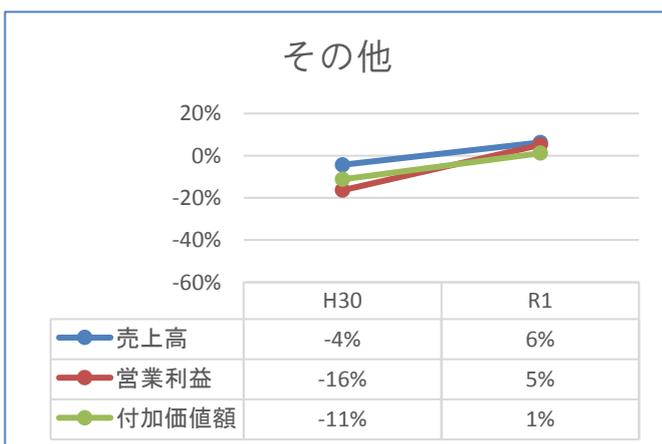
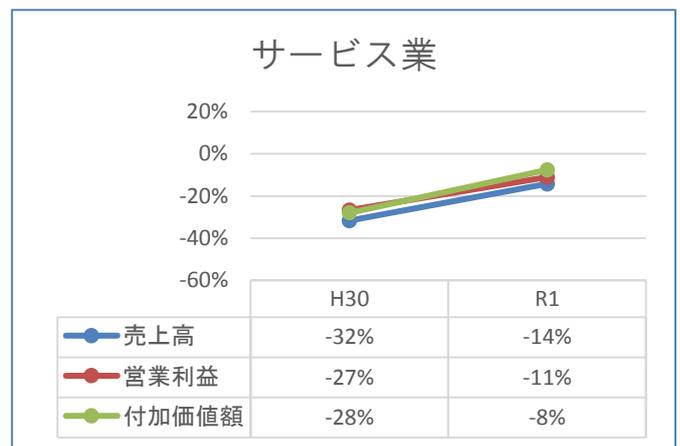
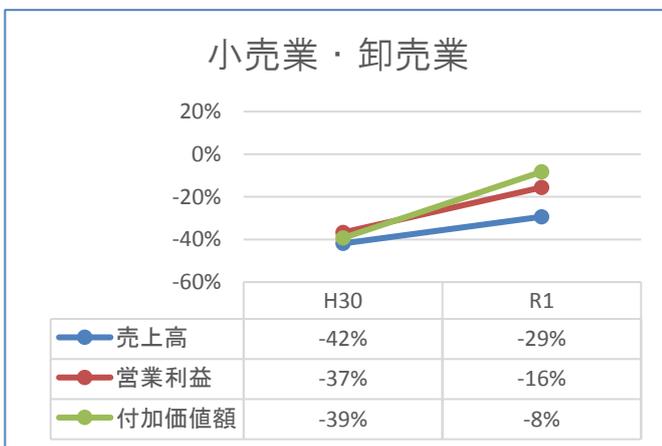
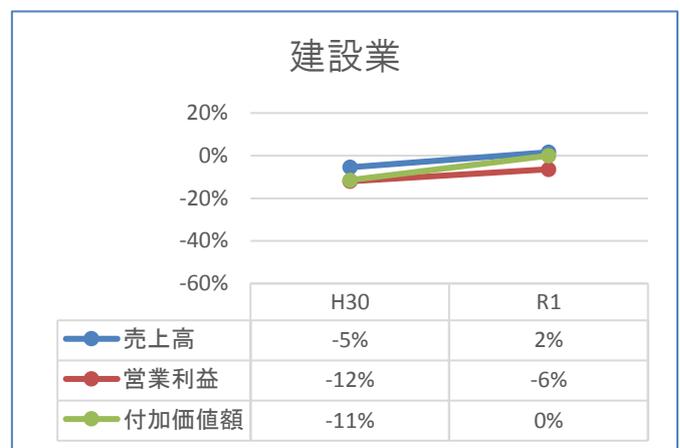
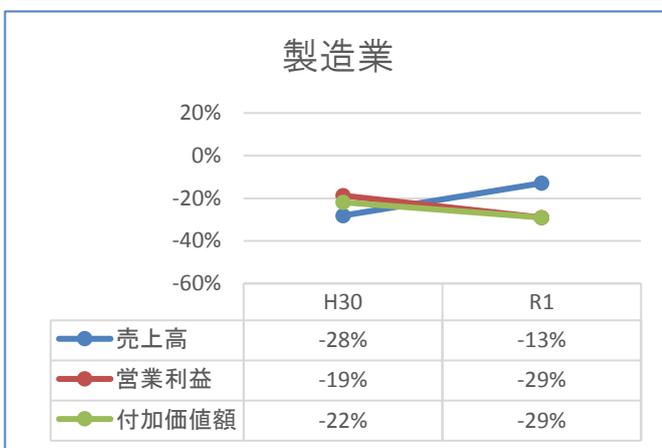
業種	件数	前年比	売上高		営業利益		付加価値額	
			前年比	比率	前年比	比率	前年比	比率
製造業	31	増加	12	39%	10	32%	9	29%
		横ばい	3	10%	2	6%	4	13%
		減少	16	52%	19	61%	18	58%
建設業	188	増加	72	38%	61	32%	61	32%
		横ばい	47	25%	54	29%	66	35%
		減少	69	37%	73	39%	61	32%
小売業・卸売業	109	増加	26	24%	27	25%	27	25%
		横ばい	25	23%	38	35%	46	42%
		減少	58	53%	44	40%	36	33%
サービス業	379	増加	87	23%	103	27%	97	26%
		横ばい	151	40%	131	35%	156	41%
		減少	141	37%	145	38%	126	33%
その他	255	増加	59	23%	82	32%	69	27%
		横ばい	153	60%	104	41%	120	47%
		減少	43	17%	69	27%	66	26%
有効合計	962							

製造業において、半数以上は売上高等が減少している。小売業・卸売業においては、売上高の減少に比べて、営業利益、付加価値額の減少は一定程度抑えられている。その他（主に不動産賃貸業）については、経費の増加による営業利益の減少が考えられる。

■業種ごとの前回集計との比較

(各項目が増加している事業者の割合から、減少している事業者の割合を引いた数値で比較)

製造業	売上等が増加した事業者は10ポイント程度減っているものの、全体では増加傾向にある。利益項目については悪化している。
建設業	売上等が減少した事業者は8ポイント、付加価値額が減少した事業者は16ポイント、いずれも減っており、前回集計対比でも業績の改善傾向がみられる。
小売業 卸売業	売上高の減少した事業者が約10ポイント、営業利益減少は約20ポイント、付加価値額減少は約30ポイント減っており、業績の改善傾向がみられる。
サービス業	売上等が増加した事業者の割合は同程度だが、減少している事業者の割合は売上高で13ポイント、営業利益、付加価値額で20ポイント程度改善している。
その他	売上等が増加した事業者の割合は同程度だが、減少している事業者の割合は10～20ポイント程度改善している。

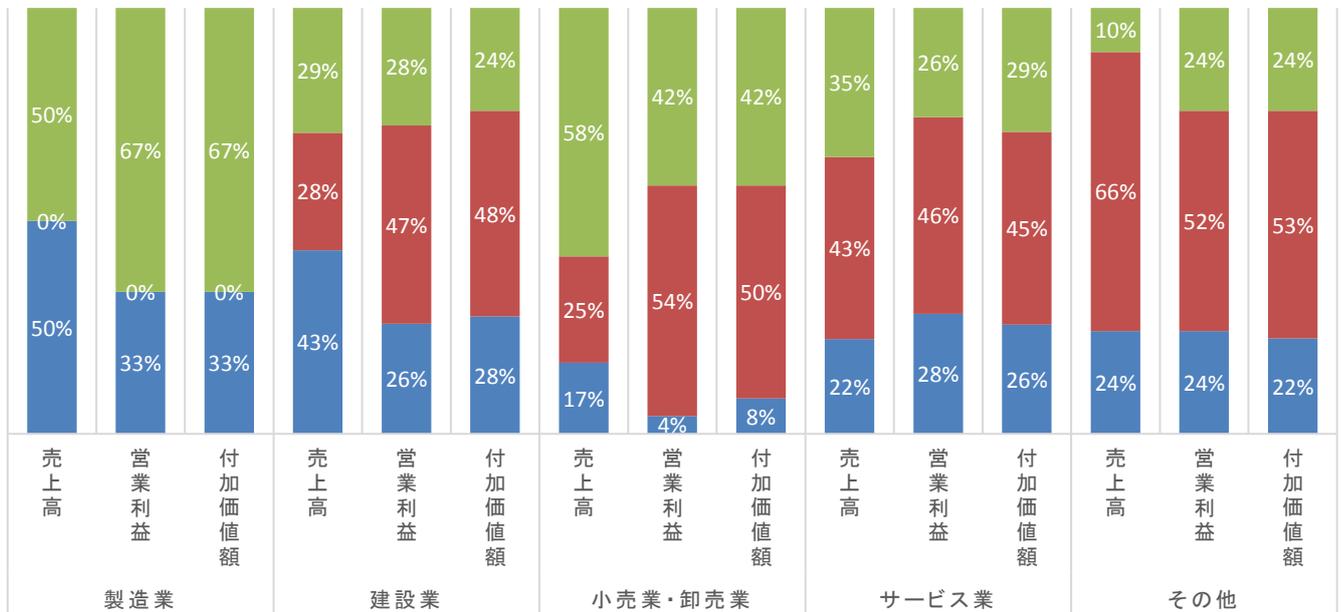


2. 商工会ごとの売上高と利益の比較

2-1. 府中町商工会

府中町商工会

■ 増加 ■ 横ばい ■ 減少

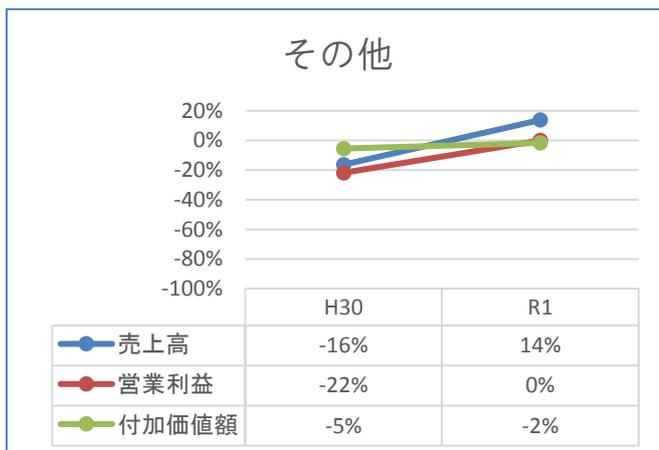
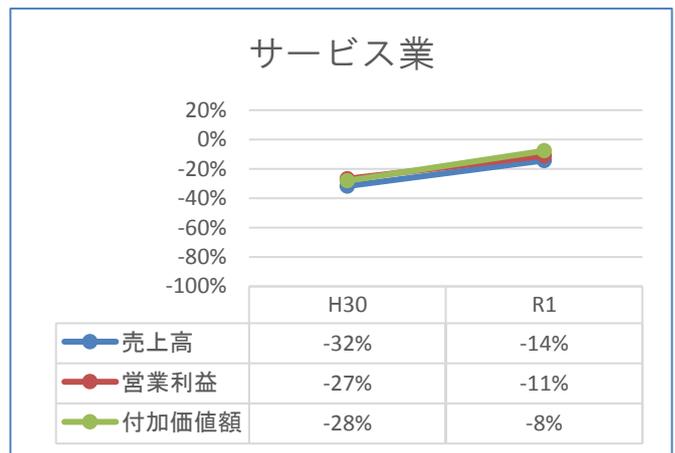
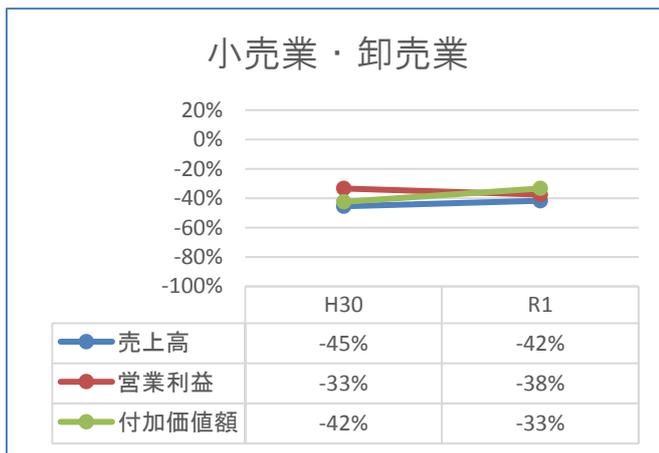
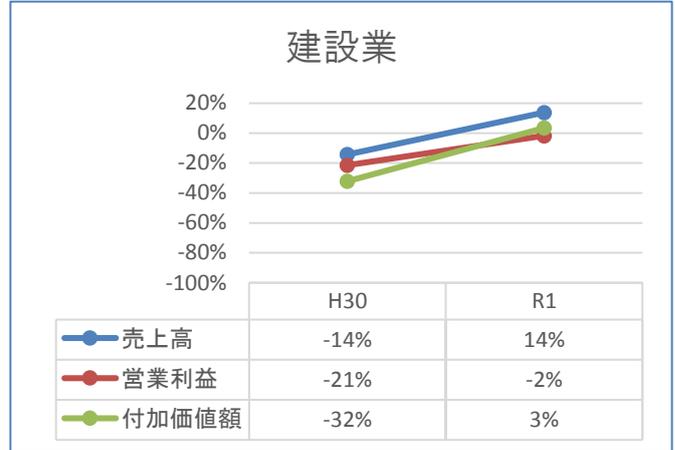
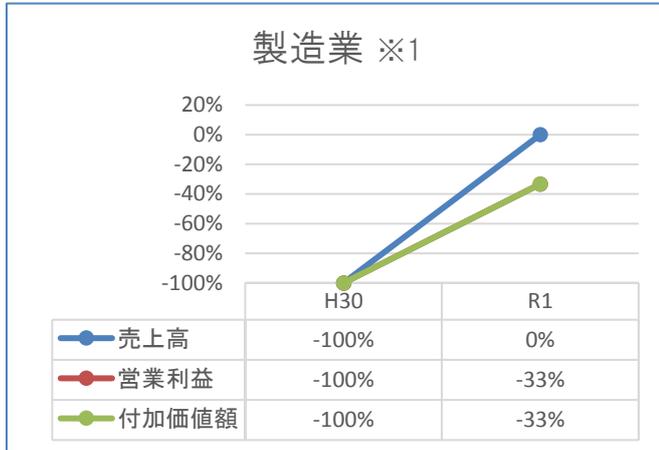


業種別の対象件数と前年比較

業種	対象件数	前年比	売上高		営業利益		付加価値額	
			件数	R1	件数	R1	件数	R1
製造業	6	増加	3	50%	2	33%	2	33%
		横ばい	0	0%	0	0%	0	0%
		減少	3	50%	4	67%	4	67%
建設業	58	増加	25	43%	15	26%	16	28%
		横ばい	16	28%	27	47%	28	48%
		減少	17	29%	16	28%	14	24%
小売業・卸売業	24	増加	4	17%	1	4%	2	8%
		横ばい	6	25%	13	54%	12	50%
		減少	14	58%	10	42%	10	42%
サービス業	117	増加	26	22%	33	28%	30	26%
		横ばい	50	43%	54	46%	53	45%
		減少	41	35%	30	26%	34	29%
その他	58	増加	14	24%	14	24%	13	22%
		横ばい	38	66%	30	52%	31	53%
		減少	6	10%	14	24%	14	24%
有効合計	263							

■業種ごとの前回集計との比較

小売業・卸売業の営業利益を除いて、ほぼすべての項目について前年対比で業績が改善傾向にある事業者が増加している。製造業では、前回集計では売上が前年対比で増加している事業者がいなかったのに対し、今回は半数が増加に転じている。

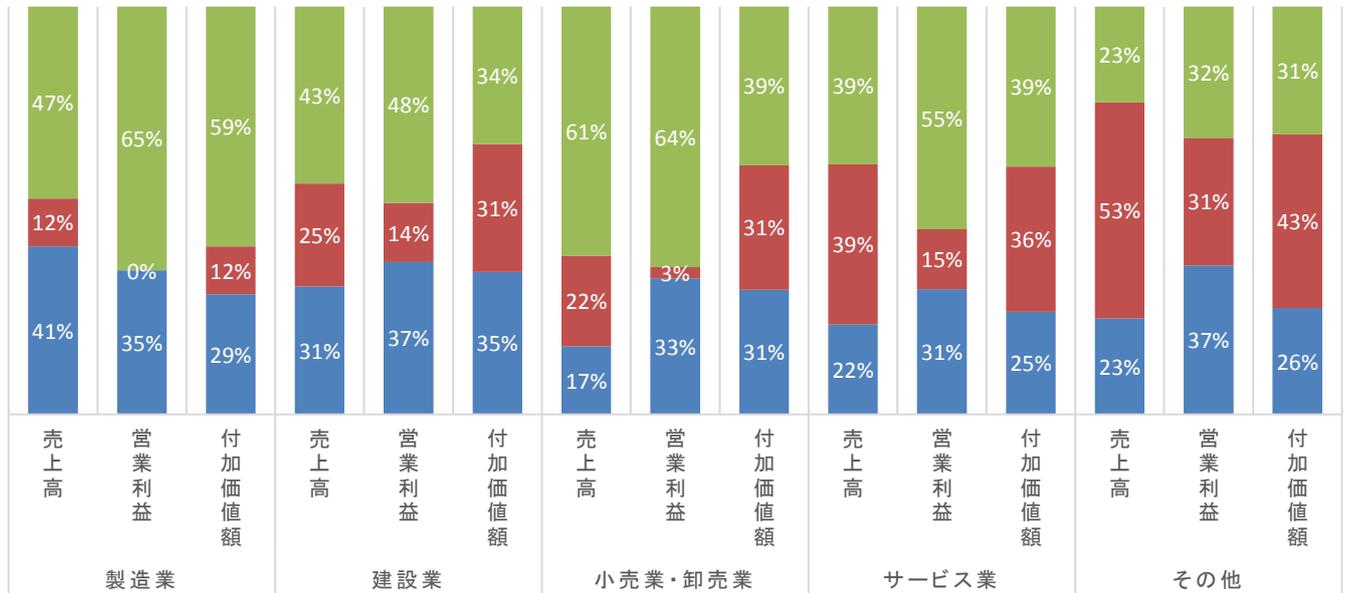


※1 製造業の営業利益のグラフ線は付加価値額のグラフ線と同じ。

2-2. 広島東商工会

広島東商工会

■ 増加 ■ 横ばい ■ 減少

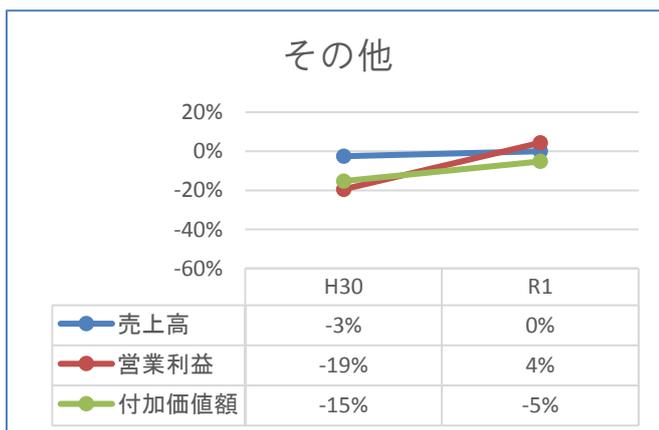
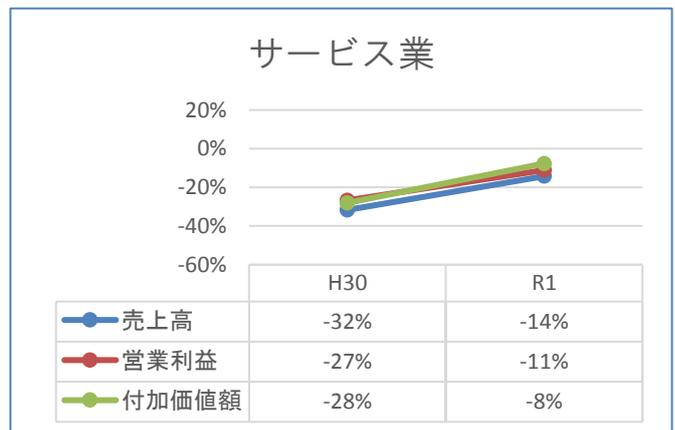
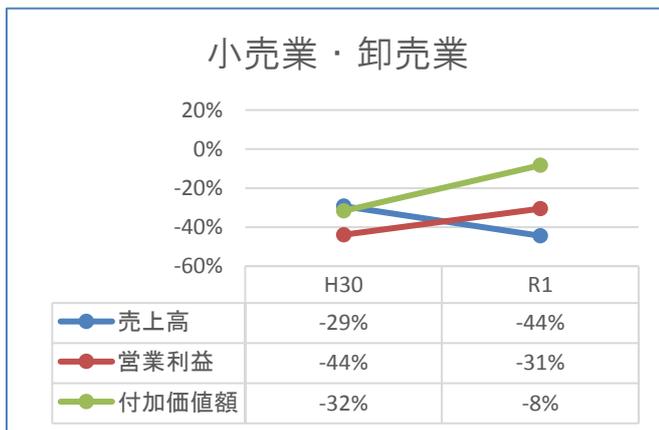
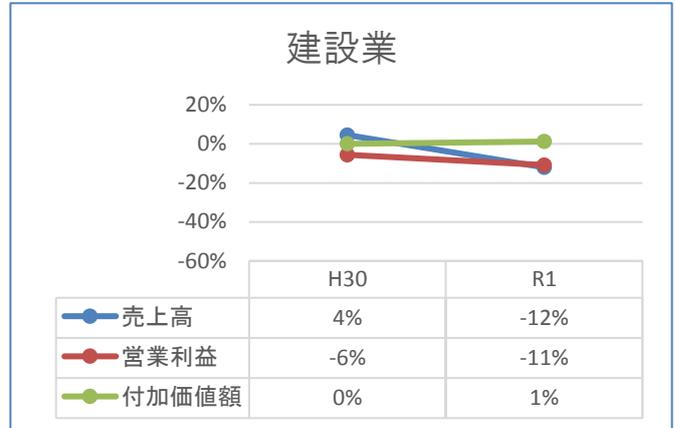
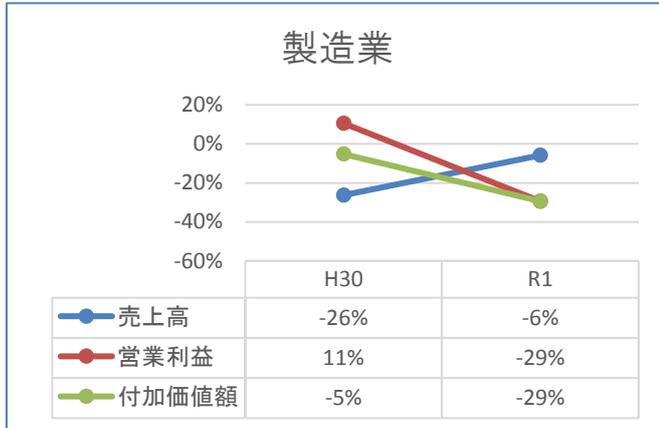


業種別の対象件数と前年比較

業種	対象件数	前年比	売上高		営業利益		付加価値額	
			件数	比率	件数	比率	件数	比率
製造業	17	増加	7	41%	6	35%	5	29%
		横ばい	2	12%	0	0%	2	12%
		減少	8	47%	11	65%	10	59%
建設業	83	増加	26	31%	31	37%	29	35%
		横ばい	21	25%	12	14%	26	31%
		減少	36	43%	40	48%	28	34%
小売業・卸売業	36	増加	6	17%	12	33%	11	31%
		横ばい	8	22%	1	3%	11	31%
		減少	22	61%	23	64%	14	39%
サービス業	163	増加	36	22%	50	31%	41	25%
		横ばい	64	39%	24	15%	58	36%
		減少	63	39%	89	55%	64	39%
その他	115	増加	27	23%	42	37%	30	26%
		横ばい	61	53%	36	31%	49	43%
		減少	27	23%	37	32%	36	31%
有効合計	414							

■業種ごとの前回集計との比較

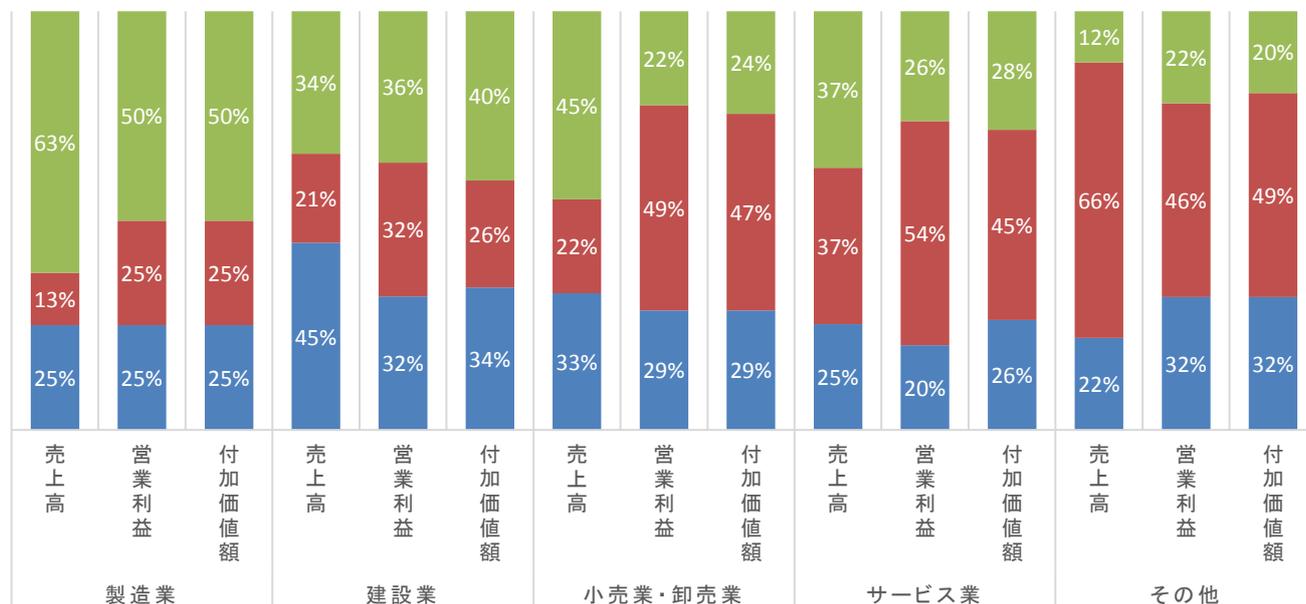
製造業では売上増加は前回集計より15ポイント増加しているが、営業利益は前回集計との比較で23ポイント減少しており、利益ベースでは悪化している。建設業では売上高は減少傾向にある事業者の割合が増えたが営業利益、付加価値額については、ほぼ前回と同水準で推移している。小売業・卸売業、サービス業、その他業種では営業利益、付加価値額は前回集計時と比べて改善している。



2-3. 広島安芸商工会

広島安芸商工会

■ 増加 ■ 横ばい ■ 減少



業種別の対象件数と前年比較

業種	対象件数	業種	売上高		営業利益		付加価値額	
			件数	比率	件数	比率	件数	比率
製造業	8	増加	2	25%	2	25%	2	25%
		横ばい	1	13%	2	25%	2	25%
		減少	5	63%	4	50%	4	50%
建設業	47	増加	21	45%	15	32%	16	34%
		横ばい	10	21%	15	32%	12	26%
		減少	16	34%	17	36%	19	40%
小売業・卸売業	49	増加	16	33%	14	29%	14	29%
		横ばい	11	22%	24	49%	23	47%
		減少	22	45%	11	22%	12	24%
サービス業	99	増加	25	25%	20	20%	26	26%
		横ばい	37	37%	53	54%	45	45%
		減少	37	37%	26	26%	28	28%
その他	82	増加	18	22%	26	32%	26	32%
		横ばい	54	66%	38	46%	40	49%
		減少	10	12%	18	22%	16	20%
有効合計	285							

■業種ごとの前回集計との比較

製造業では、前回集計との比較で売上高が減少している事業者の割合が 23 ポイント増加しているものの、営業利益に関しては 20 ポイント、付加価値に関しては 10 ポイント、それぞれ減少割合が改善している。その他の業種については、売上にに関する各項目が増加している事業者の割合は前年とほぼ同程度だが、減少している事業者の割合は、建設業で約 15 ポイント、小売業・卸売業とサービス業で約 40 ポイント、その他で約 20 ポイント、それぞれ減っていることから、減少傾向から改善した事業者が多かったことが分かる。

